令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金福岡市配分委員会
議事録

I 開催日時等

日時 令和5年12月20日(水) 14:00~14:30

場所 市役所本庁舎15階 本部会議室

II 次第

1 開会

2 委員紹介

3 趣旨説明

4 議事

令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金福岡市配分計画について

5 閉会

III 議事概要

・事務局からの趣旨説明

(事務局から資料3について説明)

○:委員、●:事務局

○ 第1次配分と第2次配分の説明があったが、第3次配分はないということか。

● 現時点では第2次配分までを見込んでいる。

○ 基本方針の3点目で『追加配分対象者が増える可能性がある』とあるが、既に大分日数が経過しており、これから被害が判明することがあるのか。

● 今後、り災証明書を取る人が増える可能性はある。そうした追加配分対象者に対し、今回の配分額と同額を配分できるように計画した。

○ 過去の義援金の配分と、今回の配分計画とで何か変更点はあるのか。

● 基本は変わっていないが、前回、平成30年度の義援金の第2次配分では、残った金額と第2次配分額を単純に、その時点における被害件数で按分した点が、今回と異なっている。

○ 今回の配分計画について、第1次、第2次で同額を配分できるようにする点は公平性が確保できていると考える。しかし、第2次配分以降が発生すると、公平性の担保が難しいのではないか。

● 今回の配分計画は、令和5年7月7日からの大雨災害に係る義援金のみに適用するもの

である。第3次以降の追加配分等が発生した場合は、改めて検討する。

- 第2次配分で、金額に端数が生じた場合はどうするのか。
- 第2次配分では1円単位での配分を検討しており、計算上、数円単位の端数が生じる可能性はある。その場合、端数の使い方については事務局で検討する。
- 資料3の(2)基本方針の中で、『最小限の事務経費を除き、全額を全対象者に配分する』とある。端数は事務経費でまとめるのではないのか。
- 基本方針に記載した「事務経費」とは、配分対象者へ通知を送付する際にかかる切手代等の通信費である。それらを除いた割り切れない数円単位の額について、寄付等を検討する。
- 第1次については、年内に配分できるのか。
- 配分対象者に対し、各区担当課から口座振込依頼書を送付し、その提出を受けてから振込手続きを行うので、配布は令和6年1月以降になる。
- 配分比についてだが、人的被害、住家被害以外の被害についても設定されているのか。
- 例えば重傷者は5、重傷者のうち治療期間が短い者は3、住家被害で全壊は10といったように、被害の段階に応じて配分比が設定されている。
- 県からの義援金は、被害の程度に応じて各市町村に配分されているのか。
- そのとおりである。福岡県での第1次配分の元となった額がおよそ1億1,820万円程度で、そのうち福岡市には61万6,000円程度が配分されており、配分の割合としては、およそ0.52%となっている。配分が最も多かった市町村は久留米市で、8,100万円ほど配分されている。
- 義援金配分計画について、事務局(案)のとおりでよろしいか。

<異議なし>